

# 謹賀新年

本年もご指導ご鞭撻の程、  
よろしくお願い申し上げます

## 【目次】

1. アーカイブ No.36  
連載「日本労働会館物語」第33回  
<ユニテリアン・ミッションと社会主義運動、労働運動！>
2. 12/01(月) 団体見学・印刷情報メディア産業労働組合連合会 4名
3. 12/09(火)～11(木) 出張講演・UA ゼンセン流通部門  
·DU 第3期「枝垂桜」① 6名
4. 12/15(月)～17(水) 出張講演・UA ゼンセン流通部門  
·第2期「正道塾」① 17名
5. 12/22(月) 出張講演・明治労働組合中央執行員会 11名
6. 12/22(月) 団体見学・JAM 北関東共済研修会(自家型) 33名

---

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第184号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1. アーカイブ No.36  
連載「日本労働会館物語」第33回 2011.12.22 発行の第43号に掲載  
<ユニテリアン・ミッションと社会主義運動、労働運動！>  
今までの連載でユニテリアンやユニテリアン教会・惟一館から誕生した社会主義運動(社会主義研究会から社会民主党)について記述してきましたが、これからは惟一館を拠点とした友愛会系労働運動やそのゆかりの人々について重点的に記述していきます。  
そこで今回はユニテリアン・ミッションと日本の社会主義運動、労働運動の関係について整理しておきます。一般論として宗教と社会主義、労働運動は疎遠

なように思われますが、キリスト教社会主義や仏教社会主義という言葉もあるように、必ずしも疎遠・無縁とは言えません。

日本ではキリスト教、特にユニテリアンと社会主義運動、労働運動は極めて親和的でした。それは友愛会系労働運動がユニテリアンの鈴木文治により始められたことでも明らかですし、また社会民主党系の社会主義運動がユニテリアンの安部磯雄らによりスタートしたことからでも確認できます。同志社大学の田村剛教授(故人)は、「友愛会はユニテリアン・ミッションの伝道活動の一つとして始められた労働運動団体」と解説。この伝で言えば「社会民主党はユニテリアン・ミッションの伝道活動の一つとして始められた社会主義政党」と説明できます。

では何故、ユニテリアンは日本で労働運動や社会主義運動と親和的、協力的だったのでしょうか。その理由としてユニテリアン主義が持つ進歩性・寛容・リベラリズムがあったと考えられますが、ユニテリアン・ミッションの責任者であったクレイ・マッコーレイの存在が大きかったと思われます。彼はユニテリアンの中でも急進派とされ、「ユニテリアン思想は…人間尊厳と人類の進歩発達を増進する」と主張し、「社会主義や労働運動を支援することは神の意志に則っている」との行動理念を持っていました。

このマッコーレイの支援、協力があったことにより惟一館では、社会主義研究会(後の社会民主党)を出発点とする安部磯雄らの自由・稳健・改革の社会主義運動が始動し、友愛会を源流とする鈴木文治らの「自由にして民主的な労働運動」もスタートすることができたのです。

今日、惟一館は「日本社会主義運動発祥の地、労働運動発祥の地」と記憶されています。

## 2. 12/01(月) 団体見学・印刷情報メディア産業労働組合連合会 4名

常設展示「日本労働運動の 100 年余」の DVD を視聴。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を聞く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。

### 3. 12/09(火)～11(木) 出張講演・UA ゼンセン流通部門

#### ・DU 第3期「枝垂桜」① 6名

ダイエーユニオンの伝承塾「枝垂桜」の第3期がスタートしました。開催趣旨は、労働組合の組織の強化を目的に、運動家としての人間性を高め、労働運動の精神を正しく継承できるリーダーを育成するためです。年間、二泊三日を4回にわたり、17講義、15演習、9視察から学びます。

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。」あるいは、「歴史は未来の鏡である。」という様に、①日本労働運動の100年余の歴史 ②日本の労働運動から見た流通労働運動の歴史 ③株ダイエーの激動期における労組の役割と責任 ④労働組合と政治の関わり ⑤次代の流通労働運動が抱える課題とその対処法 ⑥民主的労働運動を探る・労組の役割と責任 ⑦実践できるリーダーシップ論⑧生産性運動三原則とその変遷⑨コーポレートガバナンス(企業統治)⑩民社党の歴史・百折不撓などを具体的に考え受講します。

第一回目は、UAゼンセン中央教育センター(友愛の丘:岡山)にて開催。センター長からゼンセン運動と労働運動の概略と歴史を受講。その後、藤吉館長から「受講にあたっての心構え」を確認し、演習を挟みつつ「したい8原則と実践できるリーダーシップ論」、「労働組合とは?果たすべき役割」などを受講しました。各講義の中では、質問も活発で、また日ごろの労働組合活動での疑問など幅広く探求した様子でした。

### 4. 12/15(月)～17(水) 出張講演・UA ゼンセン流通部門

#### ・第2期「正道塾」① 17名

労働組合の組織の強化を目的に、人材育成の一助として、運動家としての人間性と品格を高め、労働運動の精神を正しく継承できるリーダーを育成するためです。年間、二泊三日を4回にわたり、14講義、16演習、11視察から学びます。「歴史は未来の鏡である」「過去は変えられないけれど、未来は変える(創る)ことができる」という様に、①日本労働運動の100年余の歴史 ②流通労働運動の歴史と今後の課題～政策と政治課題～ ③民主的労働運動を探る・労組の役割と責任 ④労働組合が政治・選挙に取り組む理由 ⑤次代の流通労働運動が抱える課題とその対処法 ⑥生産性運動三原則 ⑦コーポレートガバナンス(企業統治) ⑧リーダーの条件とは何か～リーダーに今求められているもの～ ⑨流通産業の動向と労使の政策課題 ⑩政治・選挙 労働組合の必須項目 等を受講します。

第1回目は、UA ゼンセン中央教育センター(友愛の丘:岡山)にて開催。初回につき、中央教育センターのセンター長から「ゼンセン労働運動の歴史」を受講。続いて「塾を受ける心構えと態度」を藤吉塾長から受講。演習を挟みな

がら「リーダーの条件とは何か～リーダーに今求められているもの～」、「流通労働運動の歴史と今後の課題～政策と政治課題～」、「政治・選挙 労働組合の必須項目」を受講。質問も活発に行われ、さらに二晩とも知識と懇親を深めました。

## 5. 12/22(月) 出張講演・明治労働組合中央執行員会 11名

常設展示「日本労働運動の 100 年余」を中心に戦前・戦後の労働運動の詳細。政党政治の戦前戦後の歴史。特に政治面では戦後の社会党と民社党との関係、なぜ国民民主党なのか。運動面では、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説詳細を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方針性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。

## 6. 12/22(月) 団体見学・JAM 北関東自家共済主要単組拡大推進会議 33名

常設展示「日本労働運動の 100 年余」を中心に戦前・戦後の労働運動の詳細。政党政治の戦前戦後の歴史。特に政治面では戦後の社会党と民社党との関係、なぜ国民民主党なのか。運動面では、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説詳細を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方針性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。

### 「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行: 友愛労働歴史館

責任者: 藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F

TEL03-3453-5386

E メール [yuirodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairodorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

惟一館から 131 年、友愛会から 113 年